

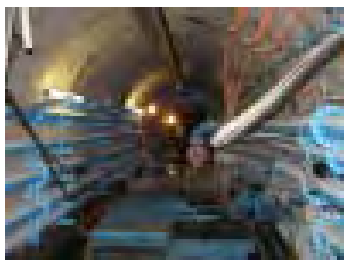
スポット ニュース

瑞浪超深地層研究所の主な作業

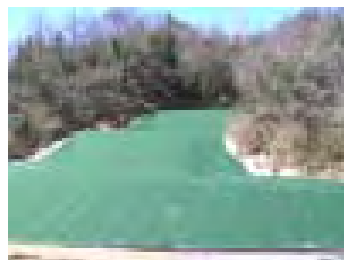
瑞浪超深地層研究所では、立坑内に溜まった地下水を排出する作業や立坑を掘削したときに出る土（ウラン濃度が普通の土よりもやや高い部分を含む）を堆積場に運び覆土する（普通の土をかぶせる）作業などを行っています。

立坑内の地下水については、3月17日現在、地上から約110㍍まで排水が進んでおり、2つの立坑をつなぐ深さ100㍍地点での水平の坑道（「予備ステージ」といいます）内で機器などの復旧作業を行っています。

堆積場については、主立坑172.6㍍、換気立坑191㍍までの掘削土の分の覆土作業が終了しました。



復旧作業中の予備ステージの様子



堆積場の覆土の様子

来月の主な作業予定（4月）

【瑞浪超深地層研究所】

- ①立坑内の地下水の排水作業
- ②排水処理設備におけるふっ素、ほう素の除去後の排水継続
- ③電流を用いて地下水の流れなどを調べる研究（流体流動電位法という）
- ④深さ約300㍍のボーリング孔（O5ME06号孔）での水圧などの長期観測
- ⑤深いボーリング孔（MIZ-1号孔）での水圧などの長期観測
- ⑥浅いボーリング孔（MSB-1,2,3,4号孔）での水圧などの長期観測
- ⑦狭間川における流量観測及び用地周辺井戸での水位観測
- ⑧研究坑道の排水に伴う環境管理測定
- ⑨気象観測及び地下水位観測
- ⑩地表の傾斜量の観測

【正馬様用地】

- ①既存のボーリング孔での水圧などの長期観測

地層研ニュースに関するご意見・ご要望や瑞浪超深地層研究所の見学のご希望などについては、下記までお問合せください。

【電話】0572-66-2244(代表) 【FAX】0572-66-2124 【メール】tono-ck@jaea.go.jp

《東濃地科学センターホームページ》：<http://www.jaea.go.jp/O4/tono/index.htm>

東濃地科学センター 地域交流課（青木、木内、福島）

豆知識（地上デジタル放送）

地上デジタル放送、最近良く聞く言葉です。地上デジタル放送は、現在放送されているアナログ放送に変わる地上放送です。アナログ放送は、平成23年7月24日で終了となり、それ以降は放送されません。では、地上デジタル放送とアナログ放送、何が違うのでしょうか。デジタル放送には下記のような特徴があります。

- ・高画質（ゴーストはなく臨場感あふれる映像）
 - ・高音質（雑音のない音でCD並の音質）
 - ・データ放送により、天気予報や交通情報など最新の情報をいつでも入手できる。
 - ・マルチ編成により2つまたは3つの番組を同時に視聴できる。
- ）など

【地上デジタル放送を受信するには】

- ・いままでのテレビで見る場合
地上デジタル放送用チューナーとUHFアンテナが必要となります。現在、ご家庭でUHFアンテナが設置されている場合は通常そのまま使用可能です。
- ・地上デジタル放送対応テレビで見る場合
UHFアンテナが必要となります。現在、ご家庭でUHFアンテナが設置されている場合は通常そのまま使用可能です。
- ・ケーブルテレビにご加入の場合
伝送する方式によってこととなりますが、放送用チューナーもしくはケーブルテレビ専用セットボックスが必要となります。詳細はケーブルテレビ会社により異なりますので、ご加入のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

参照：http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/whatsnew/digital-broad/

パソコン教習コーナーのご案内

4月3日より、瑞浪超深地層研究所の1階の管理棟に、パソコン教習コーナーを設置します。このコーナーでは、パソコンの基本操作などをわかりやすくご説明します。事前申し込みが必要となりますので、ご希望の日時を前日までに下記の申込先へお知らせください。なお、誠に勝手ながら、都合により日時の変更をお願いさせていただく場合もございますのであらかじめご承知おきください。

期 間：平成18年4月～平成19年3月の平日（17:00まで）

場 所：瑞浪超深地層研究所 管理棟 展示スペース

内 容：パソコンの基本操作など（1～2時間程度を予定）

申込先：日時、人数、お名前をお知らせの上、地域交流課までお申し込みください。

【電 話】0572-66-2244(代表)

【FAX】0572-66-2124

【メール】tono-ck@jaea.go.jp



瑞浪国際地科学交流館 ミニギャラリーの4月の展示案内

瑞浪国際地科学交流館の1階にあるミニギャラリーでは、「夢の会 絵手紙展示会」を開催いたします。是非、瑞浪国際地科学交流館へ足をお運びください。

【期 間】平成18年4月1日（土）～4月30日（日） 10:00～21:00

【場 所】瑞浪市明世町戸狩字大狭間36-8

環境保全協定書に基づく調査結果（2月分）

調査結果は地層研ニュース裏面をご覧ください。

瑞浪超深地層研究所の工事排水の水質調査結果

(全て管理目標値内でした)

【採取日】
平成 18 年 2 月 21 日

測定項目	管理目標値	検査結果	測定項目	管理目標値	検査結果
水素イオン濃度 (pH)	6.5 ~ 8.5	7.1	1,1,1-トリクロロエチレン (mg/ℓ)	1 以下	0.0005 未満
浮遊物質量 (mg/ℓ)	25 以下	1	1,1,2-トリクロロエチレン (mg/ℓ)	0.006 以下	0.0006 未満
カドミウム (mg/ℓ)	0.01 以下	0.001 未満	1,1-ジクロロイソプロピレン (mg/ℓ)	0.02 以下	0.002 未満
全シアン (mg/ℓ)	検出されないこと	検出されず	ジ-1,2-ジクロロイソプロピレン (mg/ℓ)	0.04 以下	0.004 未満
有機燐 (mg/ℓ)	検出されないこと	検出されず	1,3-ジクロロベンゼン (mg/ℓ)	0.002 以下	0.0002 未満
鉛 (mg/ℓ)	0.01 以下	0.005 未満	チウラム (mg/ℓ)	0.006 以下	0.0006 未満
六価クロム (mg/ℓ)	0.05 以下	0.04 未満	シマジン (mg/ℓ)	0.003 以下	0.0003 未満
砒素 (mg/ℓ)	0.01 以下	0.005 未満	チオベンカルブ (mg/ℓ)	0.02 以下	0.002 未満
総水銀 (mg/ℓ)	0.0005 以下	0.0005 未満	ベンゼン (mg/ℓ)	0.01 以下	0.001 未満
アルキル水銀 (mg/ℓ)	検出されないこと	検出されず	セレン (mg/ℓ)	0.01 以下	0.002 未満
PCB (mg/ℓ)	検出されないこと	検出されず	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/ℓ)	10 以下	0.64
トリクロロフルオロメタン (mg/ℓ)	0.03 以下	0.002 未満	ふっ素 (mg/ℓ)	0.8 以下	0.5
テトラクロロフルオロメタン (mg/ℓ)	0.01 以下	0.0005 未満	ほう素 (mg/ℓ)	1 以下	0.02 未満
四塩化炭素 (mg/ℓ)	0.002 以下	0.0002 未満	アセチルアミン化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 (mg/ℓ)	—	0.99
ジクロロメタン (mg/ℓ)	0.02 以下	0.002 未満			
1,2-ジクロロエチレン (mg/ℓ)	0.004 以下	0.0004 未満			

狭間川の上流及び下流の水質調査結果

【採取日】
平成 18 年 2 月 21 日

測定項目	管理目標値	狭間川下流	狭間川上流 (参考)	測定項目	管理目標値	狭間川下流	狭間川上流 (参考)
水素イオン濃度 (pH)	6.5 ~ 8.5	7.4	7.6	1,1,2-トリクロロエチレン (mg/ℓ)	0.006 以下	0.0006 未満	0.0006 未満
浮遊物質量 (mg/ℓ)	25 以下	1 未満	1 未満	1,1-ジクロロイソプロピレン (mg/ℓ)	0.02 以下	0.002 未満	0.002 未満
カドミウム (mg/ℓ)	0.01 以下	0.001 未満	0.001 未満	ジ-1,2-ジクロロイソプロピレン (mg/ℓ)	0.04 以下	0.004 未満	0.004 未満
全シアン (mg/ℓ)	検出されないこと	検出されず	検出されず	1,3-ジクロロベンゼン (mg/ℓ)	0.002 以下	0.0002 未満	0.0002 未満
鉛 (mg/ℓ)	0.01 以下	0.005 未満	0.005 未満	チウラム (mg/ℓ)	0.006 以下	0.0006 未満	0.0006 未満
六価クロム (mg/ℓ)	0.05 以下	0.04 未満	0.04 未満	シマジン (mg/ℓ)	0.003 以下	0.0003 未満	0.0003 未満
砒素 (mg/ℓ)	0.01 以下	0.005 未満	0.005 未満	チオベンカルブ (mg/ℓ)	0.02 以下	0.002 未満	0.002 未満
総水銀 (mg/ℓ)	0.0005 以下	0.0005 未満	0.0005 未満	ベンゼン (mg/ℓ)	0.01 以下	0.001 未満	0.001 未満
アルキル水銀 (mg/ℓ)	検出されないこと	検出されず	検出されず	セレン (mg/ℓ)	0.01 以下	0.002 未満	0.002 未満
PCB (mg/ℓ)	検出されないこと	検出されず	検出されず	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/ℓ)	10 以下	0.50	0.53
トリクロロフルオロメタン (mg/ℓ)	0.03 以下	0.002 未満	0.002 未満	ふっ素 (mg/ℓ)	0.8 以下	0.1 未満	0.1
テトラクロロフルオロメタン (mg/ℓ)	0.01 以下	0.0005 未満	0.0005 未満	ほう素 (mg/ℓ)	1 以下	0.02 未満	0.02 未満
四塩化炭素 (mg/ℓ)	0.002 以下	0.0002 未満	0.0002 未満				
ジクロロメタン (mg/ℓ)	0.02 以下	0.002 未満	0.002 未満				
1,2-ジクロロエチレン (mg/ℓ)	0.004 以下	0.0004 未満	0.0004 未満				
1,1,1-トリクロロエチレン (mg/ℓ)	1 以下	0.0005 未満	0.0005 未満				

立坑の湧水の水質調査結果

【採取日】
平成 18 年 2 月 21 日

測定項目	参考値	検査結果	測定項目	参考値	検査結果
カドミウム (mg/ℓ)	0.01 以下	0.001 未満	ジ-1,2-ジクロロイソプロピレン (mg/ℓ)	0.04 以下	0.004 未満
全シアン (mg/ℓ)	検出されないこと	検出されず	1,3-ジクロロベンゼン (mg/ℓ)	0.002 以下	0.0002 未満
鉛 (mg/ℓ)	0.01 以下	0.005 未満	チウラム (mg/ℓ)	0.006 以下	0.0006 未満
六価クロム (mg/ℓ)	0.05 以下	0.04 未満	シマジン (mg/ℓ)	0.003 以下	0.0003 未満
砒素 (mg/ℓ)	0.01 以下	0.005 未満	チオベンカルブ (mg/ℓ)	0.02 以下	0.002 未満
総水銀 (mg/ℓ)	0.0005 以下	0.0005 未満	ベンゼン (mg/ℓ)	0.01 以下	0.001 未満
アルキル水銀 (mg/ℓ)	検出されないこと	検出されず	セレン (mg/ℓ)	0.01 以下	0.002 未満
PCB (mg/ℓ)	検出されないこと	検出されず	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/ℓ)	10 以下	0.02
トリクロロフルオロメタン (mg/ℓ)	0.03 以下	0.002 未満	ふっ素 (mg/ℓ)	0.8 以下	7.5
テトラクロロフルオロメタン (mg/ℓ)	0.01 以下	0.0005 未満	ほう素 (mg/ℓ)	1 以下	0.83
四塩化炭素 (mg/ℓ)	0.002 以下	0.0002 未満	水素イオン濃度 (pH)	—	11.0
ジクロロメタン (mg/ℓ)	0.02 以下	0.002 未満	塩化物イオン (mg/ℓ)	—	145
1,1,1-トリクロロエチレン (mg/ℓ)	1 以下	0.0005 未満			
1,1,2-トリクロロエチレン (mg/ℓ)	0.006 以下	0.0006 未満			
1,1-ジクロロイソプロピレン (mg/ℓ)	0.02 以下	0.002 未満			

注意：立坑の湧水の水質調査結果はフッ素・ホウ素を除去する前の湧水の値となります。

主立坑と換気立坑の掘削土の土壌調査結果

測定項目	参考値	主立坑掘削土	換気立坑掘削土	測定項目	参考値	主立坑掘削土	換気立坑掘削土
カドミウム (mg/ℓ)	0.01 以下	—	—	1,1-ジクロロイソプロピレン (mg/ℓ)	0.02 以下	—	—
全シアン (mg/ℓ)	検出されないこと	—	—	ジ-1,2-ジクロロイソプロピレン (mg/ℓ)	0.04 以下	—	—
有機燐 (mg/ℓ)	検出されないこと	—	—	1,3-ジクロロベンゼン (mg/ℓ)	0.002 以下	—	—
鉛 (mg/ℓ)	0.01 以下	—	—	チウラム (mg/ℓ)	0.006 以下	—	—
六価クロム (mg/ℓ)	0.05 以下	—	—	シマジン (mg/ℓ)	0.003 以下	—	—
砒素 (mg/ℓ)	0.01 以下	—	—	チオベンカルブ (mg/ℓ)	0.02 以下	—	—
総水銀 (mg/ℓ)	0.0005 以下	—	—	ベンゼン (mg/ℓ)	0.01 以下	—	—
アルキル水銀 (mg/ℓ)	検出されないこと	—	—	セレン (mg/ℓ)	0.01 以下	—	—
PCB (mg/ℓ)	検出されないこと	—	—	ふっ素 (mg/ℓ)	0.8 以下	—	—
トリクロロフルオロメタン (mg/ℓ)	0.03 以下	—	—	ほう素 (mg/ℓ)	1 以下	—	—
テトラクロロフルオロメタン (mg/ℓ)	0.01 以下	—	—				
四塩化炭素 (mg/ℓ)	0.002 以下	—	—				
ジクロロメタン (mg/ℓ)	0.02 以下	—	—				
1,2-ジクロロエチレン (mg/ℓ)	0.004 以下	—	—				
1,1,1-トリクロロエチレン (mg/ℓ)	1 以下	—	—				
1,1,2-トリクロロエチレン (mg/ℓ)	0.006 以下	—	—				

注意：当該月（2月）は掘削作業を実施していないため、掘削土の土壌調査の測定はありません